

## プラン名称:富士川ウォーターワールド ～ミズベと富士川の魅力を繋ぐ～

チーム名	みつたんず	対象地域	山梨ステージ
大学名	亜細亜大学	テーマ	ミズベリングと連動した富士川水系流域の「観光まちづくりプラン」
リーダー名	本田真依子		
指導教員名	高石光一		
メンバー名	本田真依子、藤枝亮一、一場脩馬、田屋宏将、青野遥、奥久美優、松尾萌、石佳		

【本選出場】 マイナビ賞 受賞

### 富士川町にはこんな魅力がいっぱい

- 地域資源
  - 渓谷、珍しい形の吊り橋と滝、公園、果実
- 歴史文化、産業
  - 里山、硯
- 富士川町の取組
  - 観光行政、商店の一品逸品、つくたべかん



富士川町HP



### 富士川町の問題点

- ・素晴らしい特産物や観光地が多くあるが、それらの場所が点在し、繋がりががないため孤立している
- ・「富士川町といえばコレだ」という核になるものがないため、富士川町を全国的にPRすることが難しい
  - 春は桜、秋は紅葉、冬はダイヤモンド富士、夏の名物がない・・・
- ・つくたべかんや柳川渓谷は富士川町の奥の方にあるため車がないと行くことが困難だが、交通機関がほとんどないため観光客が足を運びにくい
- ・車で訪れた場合、道が細く運転しにくい、駐車場が小さく少ない
- ・観光地はたくさんあるが、宿泊施設がない

### 問題点の解決策

①3つのミズベリングをパワーアップ(ターゲットを絞り訴求する)

**大柳川渓谷** 沢登:滝や川を見るだけでなく、水に触れて沢を登る体験をしてもらおう  
→若者、カップル、外国人観光客をターゲット

**溪流公園** BBQ、キャンプ、釣りが楽しめる  
アスレチック・噴水を建設:子供と一緒に遊べるウォーターパークに  
→ファミリーをターゲット

**富士川** 舟下り:平成23年に富士川舟下りが100年ぶりに復活したが、利益があがらず26年に廃業  
\*観光客を増やし、再復活させる  
→シニアをターゲット

②つくたべかんを富士川観光の核にしよう

\*つくたべかんをさらに活性化させるには・・・

**観光案内機能の充実:**一般的な観光情報  
専門ガイド(天候、トレッキング、等)

**装備などのレンタル:**沢登に必要なヘルメット、ウェットスーツ、リバーシューズ、ロープなど

**啓蒙機能:**富士川町の歴史、文化などに関するイベントや教室

**メニューの充実:**みみ以外にも特産品を使ったメニュー  
つくたべかん限定土産開発:「GI」を取得産物の販売

③孤立した観光地を繋げる

- ミニバスを開通
  - それぞれの観光地をミニバスで繋げて気楽に足を運べるようにする
  - いきなり観光客が増えるとは考えにくいため最初はミニバスから始める
  - 観光客の増加に伴いバスを大きくし運行本数を増やす

2. さらにJR躰沢口駅と笛吹市の石和温泉駅を繋ぐシャトルバスを開通させる

富士川町には観光地はたくさんあるが宿泊施設がない

↓  
笛吹市には宿泊施設はあるが観光地がない、花火や鶉飼など夜のイベントが盛ん

お互いの特徴を生かして、「昼間は富士川、夜は笛吹」と泊りがけで訪れてもらう →宿がないという問題を解決!

### プランの新規性

- \*富士川町の3つのミズベに注目し、それらがもつポテンシャルが開花するよう、ターゲットを定めてアピールする
- \*富士川町を持つ自然、歴史・文化・産業資源を全てを使い、そこに新たな付加価値を加える
  - 富士川町限定のオリジナルメニューや産品がさらに生み出される
- \*特に夏場に体験型の観光・レジャー目的の観光客が見込まれる
- \*孤立した観光スポットをミニバスで繋げ来町者の利便性を高める
- \*笛吹市ともシャトルバスでつなげることにより観光地としての富士川町が誕生
- \*これによる笛吹市の宿泊客増加

### 実現計画

大柳川渓谷 1年目:現状調査、リバートレッキング協会による検討、歩道整備、害虫駆除 など

2年目:沢登ルート整備、第1回沢登開催

3年目:メディア向けに大柳川をPR、第2回沢登の開催

溪流公園 1年目:水質改善、アスレチック・噴水建設の検討、ウォーターランなどイベント開催

2年目:ファミリー対象に富士川キャンプ、BBQイベントを開催、アスレチック・噴水建設

3年目:行政・協賛企業に働きかけ、富士川舟下りの再復活の検討・PR

富士川 1年目:富士川舟下り再復活のための協力会結成

2年目:行政・協賛企業に働きかけ、富士川舟下りの再復活の検討・PR

3年目:富士川舟下り復活、舟下りツアー実施

つくたべかん 1年目:提案プランの実現性確認・協議、従業員の確保

2年目:プラン実行、効果を見ながら新たなプラン・イベントの開催

GI取得産物 1年目:GI取得のための申請

2年目:GI取得特産物を使った土産開発

3年目:販売開始、新商品開発

ミニバス 1年目:バスルート確認、時刻表作成、午前8時から午後7時まで運行

シャトルバス 2年目:観光客の増加に伴い、運行本数を増やす

### 実現した場合の効果

- 観光地としての富士川町の知名度アップ
- 体験型ウォーターワールドとしての富士川町の誕生
- 若者、ファミリー、シニア等の世代にぴったりの水の魅力が堪能できる街に変貌
- 来訪者は、快適で便利な旅ができる
- 地元農工商業者は、ブランド製品を生産・製造でき、やりがいと収益向上が見込まれる
- 地元住人にとっても、全国・世界の旅行者との交流できる
- 笛吹市との相乗効果も得られます(ミズベリング連携)

・石川県山中町の事例:ミニバスを開通させたところバス利用者数(観光客数)が約20%増加したこの事例から富士川町もミニバスを開通させることにより観光客が増加すると予想  
ミニバス開通により **20%増加** + 沢登、つくたべかん活性化、ミズベリング強化 = **50万人超え!?**

・舟下り:昨年に利益があがらず廃業してしまったが、観光客が増加すれば復活できる!!  
⇒復活によりさらなる観光客増加が見込める

・シャトルバスで笛吹と繋ぐ:「昼は富士川町、夜は笛吹市」泊りがけで来てもらう  
⇒笛吹の宿泊者数も増加 **相乗効果が見込める!!**

富士川町は一年中楽しめる人気の観光地、笛吹市はかつてのように観光客であふれる宿泊地として生まれ変わらせることができる。

